

第6学年1組 国語科学習指導案

日 時：平成30年11月30日（金）

場 所：浜田市立国府小学校 6年1組教室

授業者：教 諭 藤澤 伸治

- 1 単元名 こんな町にしたい！～町の未来プレゼンテーション～
- 2 教材名 共通学習材・・・「町の幸福論 - コミュニティデザインを考える」東京書籍6年
- 3 学 級 国府小学校 6年1組 男子14名 女子15名 計29名

4 単元づくりの構想

本単元で付けたい力

・目的に応じて必要な情報を見つけたり，論の進め方について考えたりする力

言語活動とその特徴

自分たちが生活する町の未来について，コミュニティデザインの観点から調べたり考えたりしたことをもとに，プレゼンテーションをするという言語活動を行う。その際，まずは，共通学習材「町の幸福論」を読むことによって，論の進め方や資料の効果的な活用の仕方について考える活動を取り入れる。その上で，公民館や地域の方を対象に，豊ヶ浦の未来を提案する会を設定し，プレゼンテーションを行う。プレゼンテーションの準備を進める際には，集めた情報を自分の発表の意図に応じて取捨選択したり，加工したりする力が必要となってくる。そして，その情報をいかに効果的に活用して説明するかという，プレゼンテーションに必要な力も育てていきたい。

教材の特質

共通学習材「町の幸福論 - コミュニティデザインを考える」は，コミュニティデザインの考え方の紹介を中心として，主体的に取り組むこと，未来のイメージをもつことの重要性について，それぞれの事例を挙げて分かりやすく述べている。序論・本論・結論の構成が明確で，段落ごとのまとまりも理解しやすい。また，説明内容に対応する写真や図表も，筆者の主張や事例を理解しやすくするために配置されている。これらのことから，図や表を用いて説明する方法を学ぶのに適した教材であるといえる。また，共通学習材に加えて，豊ヶ浦に関する資料を複数準備する。これらの資料も，児童が，町づくりについての自分の考えをまとめる上で参考になると考える。

本単元に関わる子どもの実態

<個人情報保護のため省略>

5 説明的な文章における付けたい力の系統性（情報活用）

（思考力、判断力、表現力等）C 読むこと

1年
書かれていることを事柄ごとに正しく読み取り、ほかの本を読んで調べたことをまとめる。
「いろいろなふね」

2年
重要な語や文を考えながら文章を読み、ほかの本などを読んで調べたことをまとめる。
「ビーバーの大工事」

3年
目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する。
「もうどう犬の訓練」

4年
何をどのように比べているかを読み取り、目的を意識して、引用したり要約したりする。
「くらしの中の和と洋」

5年
目的に応じて、いろいろな本や資料などから要旨、筆者の説明の工夫や資料の使い方などを読み取る。
「和の文化を受けつぐ～和菓子をさぐる」

6年
目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりする。
「町の幸福論
～コミュニティーデザインを考える～」

第1学年及び第2学年
ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。
ウ 文章の中の重要な語や文を考えて選り出すこと。
オ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。

第3学年及び第4学年
ア 段落相互の關係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との關係などについて、叙述を基に捉えること。
ウ 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。
オ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。

第5学年及び第6学年
ア 事実と感想、意見などとの關係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。
ウ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。
オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを広げること。

中学校 第1学年
ア 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との關係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握すること。
ウ 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈すること。
エ 文章の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考えること。
オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。

6 研究の重点とのかかわり

(1) 視点1 言葉に向き合い、主体的・対話的に学ぶ授業

① 全体、グループ、個での対話的な学びの過程を取り入れた授業

教材文を読み取る場面や資料の効果を考える場面、プレゼンテーションを準備する場面など、考えを深めたい場面において積極的に対話的な学びの過程を取り入れる。その際、グループでの対話から全体への対話、全体での対話からグループでの対話などを児童の思考の流れを意識して設定していきたい。本時においては、まず、グループでそれぞれの資料が必要かどうか検討する対話の場を設定し、その思考の結果をもちより、全体での対話の場につなげていきたい。全体での対話の場面では、多様な考えに触れることを大切にし、それを通してより考えを広げることにつなげたい。その上で、最終的には、自分の考えをまとめる個の対話にもどして思考をまとめていくという流れを作りたい。

② 対話で考えを深めるための思考ツールの活用

グループで話し合いを行うにあたり、グループで協力して何かを作り上げる活動を仕組むことによって、思考に沿った対話が生まれ、考えが深まることにつながると考える。そこで、本単元においては、思考ツールを準備し、思考ツールをまとめあげる活動をたくさん仕組むことによって、考えを深めていきたい。本時においては、グループごとにクラゲ図を作成する活動を取り入れる。クラゲ図は、根拠や理由などをまとめながら思考を深めていくために有効な思考ツールである。それぞれの資料が必要かどうか根拠をはっきりさせながら考えていくことができるように、視覚的にも課題がとらえやすく、児童が思考を深めることにつながりやすいクラゲ図を準備したい。

(2) 視点2 言葉の力を積み重ね、学ぶ集団づくり

① 既習事項の提示

本単元では、資料を効果的に活用してプレゼンテーションすることを主なねらいとしている。その作成過程において、文章全体の構成を捉えて要旨を把握しまとめることや序論、本論、結論の流れで論を進めていくことが大切になってくる。これらのことは既習事項であるが、学習してから時間もたっているためしっかりと思い出すために分かりやすく提示しておく必要がある。そのために、継続的に活用を続けている説明文の家を使って構成を捉えたり、要旨を把握したりするとともに、単元を通して説明文の家を常に掲示し、いつでも確認できるようにしておきたい。また、既習事項である、資料の種類や特徴についての図や接続詞の一覧なども常に掲示しておくことによって、児童が既習事項を想起するのに役立てたい。

(3) 視点3 言葉の力を育てる環境作り

① 図書館活用の推進、図書館司書との連携

本単元で扱う豊ヶ浦について、様々な資料を集め掲示していくことによって、児童が豊ヶ浦により関心を持つことができるようにしていくとともに、資料選びの際に役立てるようにしていく。その際、図書館からも関連する資料を厳選し、掲示できるようにしていきたい。また、図書館の資料だけではなく、パンフレットやインターネットからの情報も、図書館司書と協力しながら集めていくことによって、より広い情報を集めることにつなげていきたい。

7 単元の指導目標

○内容を伝えるためにより効果的な資料を選ぶための大切なポイントを理解することができる。

【知識及び技能 (2) 情報の扱い方に関する事項 ○情報の整理イ】

◎目的に応じて必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。

【思考力、判断力、表現力等 C読むこと 精査・解釈ウ】

○自分たちの町に関心を持ち、相手に伝えるために共通学習教材や資料を読んだり調べたりしようとしている。

【学びに向かう力、人間性等】

8 単元の評価規準

知識及び技能 【情報の整理 イ】	思考力、判断力、表現力等 【C読むこと 精査・解釈ウ】	主体的に学習に取り組む態度
・内容を伝えるためにより効果的な資料を選ぶための大切なポイントを理解している。	・目的に応じて必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。	・自分たちの町に関心を持ち、教材文や資料を読んで調べ、その内容を相手に伝えようとしている。

9 単元の指導計画（全13時間扱い）

次	時	学習活動	・指導上の留意点 ◇評価規準（評価方法）
第一 次	1	○指導者によるプレゼンテーションを聞いてイメージをつかむ。 ○学習課題を確認し、学習の見通しをもつ。	・プレゼンテーションに至るまでの行程も簡単に示し、単元の学習活動の見通しがもてるようにする。 ◇教材文の内容に関心を持ち、プレゼンテーションを行うという学習課題を確かめ、進んで学習に取り組もうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】(発言・ふりかえり)
		国府の未来について提案するプレゼンテーションを作ろう。	
	2	○「町の幸福論」を通読して序論、本論、結論の文章構成を捉え、序論の内容を読み取る。	・「説明文の家」を用いて文章構成をまとめることができるようにする。 対話（選択） ◇文章の構成をとらえ、序論の内容を読み取っている。
	3	○結論を読み取り、筆者の伝えたいことをまとめる。	【思考力・判断力・表現力等 C読むこと】(発言・説明文の家) ・グループで、必要なキーワードを選んでいくことを通して、要旨をまとめることができるようにする。 ◇文章全体の構成をもとに必要なキーワードを使って要旨をまとめている。
	4	○本論1・2に書かれた3つの事例の内容を読み取る。 ○グラフと表の効果を考える。	【思考力・判断力・表現力等 C読むこと】(発言・説明文の家) ・グループでクラゲ図を作ることによって、主張と事例を関連付けてまとめることができるようにする。 ◇筆者の主張と事例を関連付けてとらえることができる。 【思考力・判断力・表現力等 C読むこと】(発言・ワークシート)

第二次	5 本時	○資料の選び方について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・資料が必要かどうかについて、グループや全体で考えることを通して、資料選びのポイントを考えることができるようにする。 対話（理由・根拠） ◇より効果的な資料を選ぶための大切なポイントを1つ書くことができる。 <p>【知識及び技能（2）情報の扱い方に関する事項○情報の整理 イ】 (ワークシート)</p>
	6	○「国府の未来」について自分の考えをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちがえがく「国府の未来」の姿について、グループで意見を出し合うことによって、考えを広げることができるようにする。 対話（具体化） ◇筆者の考えをもとに、「国府の未来」の姿について考えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】(ワークシート)</p>
	7 8	○いろいろな資料を見て、「国府の未来」についての提案を考え、より効果的な資料を選ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師や児童が集めた豊ヶ浦に関する資料をワークスペースに提示しておくことによって、自分の提案を説明するためにより効果的な資料を選ぶことができるようにする。 ◇提案内容が伝わるように話の構成を工夫し、必要な資料を選んでいる。 <p>【思考力・判断力・表現力等 C読むこと】(ワークシート)</p>
	9 10	○プレゼンテーションに必要な資料を準備し、発表の練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでプレゼンテーションを聞き合い、アドバイスし合う場を設ける。 対話（点検・アドバイス） ◇資料を効果的に活用して分かりやすく話す工夫を考えている。 <p>【思考力・判断力・表現力等 C読むこと】(ワークシート)</p>
第三次	国府の未来について提案するプレゼンテーションをしよう。		
	11 12	○「国府の未来」についてプレゼンテーションをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターセッション形式でプレゼンテーションをし、プレゼンテーションの後感想を交流する場を設けてふり返りに活かせるようにする。 ◇聞き手に意図が伝わるように考えて発表している。 <p>【思考力・判断力・表現力等 C読むこと】(発表)</p>
	13	○単元の学習をふりかえり、分かったことやできるようになったことを確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に出された感想や助言を確かめ、ふり返ることができるようにする。 ◇相手に意図を伝えるために大切なことを見つけている。 <p>【思考力・判断力・表現力等 C読むこと】(ワークシート)</p>

10 本時の指導 (5/13時間目)

(1) 本時のねらい

○事例の内容を伝えるためにより効果的な資料を選ぶ大切なポイントを理解することができる。

【知識及び技能 (2) 情報の扱い方に関する事項 ○情報の整理 イ】

(2) 本時の展開

学習活動	時間	・指導上の留意点 ◇評価規準 (評価方法)
<p>1, 効果的な資料を選ぶ。</p> <p>○課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教科書の資料の他に使ってよいとすると、A、B、C、それぞれの資料を使いますか、使いませんか。</p> <p>A ディズニーランドの写真</p> <p>B 有馬富士公園の写真</p> <p>C 凧揚げの写真</p> <p>D イベントと来演者数数の図</p> </div> <p>○グループで対話する。</p> <p>○全体で対話する。</p>	<p>5</p> <p>10</p> <p>10</p>	<p>・前時を想起させて、筆者の主張をあらためて確認しておくことによって、資料選びの目的を明確にする。</p> <p>・拡大した資料を黒板に提示し、その資料が必要かどうか考える際にイメージできるようにする。</p> <p>・A、B、C、Dそれぞれの写真のついたクラゲ図を準備し、使う場合は白、使わない場合は赤の紙に理由を書いて貼っていくことによって、クラゲ図を完成させるようにする。</p> <p>・グループごとにクラゲ図を完成させることによって、その過程において理由を明確にできるようにする。</p> <p>・各グループのクラゲ図を整理して黒板に貼っていきながら、詳しい説明や付け加え、質問など言いたいことがある児童が発言できるようにする。</p> <p style="text-align: right;">対話 (理由・根拠)</p>
<p>2, 資料を選ぶ際のポイントを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>より効果的な資料を選ぶ際に大切なポイントを1つあげるとしたらなんですか。</p> </div> <p>○グループで対話する。</p> <p>○個人で考える。</p>	<p>10</p> <p>5</p>	<p>・グループで相談して書きこむことができるようにたんざくを準備し、黒板にたんざくを貼っていくことによって資料選びのポイントを確認できるようにする。</p> <p style="text-align: right;">対話 (まとめ)</p> <p>・グループで考えたポイントをふまえて、自分の言葉でポイントをまとめることができるようにする。</p> <p>◇より効果的な資料を選ぶための大切なポイントを1つ書くことができている。【知識及び技能 (2) 情報の扱い方に関する事項○情報の整理 イ】 (ワークシート)</p>
<p>3. まとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に合わせて資料を選ぶ。 ・主張や目的に合わせて資料を選ぶ。 	<p>5</p>	<p>・黒板に貼られたたんざくや一人一人がワークシートに書いたポイントをもとに、ポイントをまとめるようにする。</p>

(3) 本時の評価

十分満足できると判断される児童の具体例	おおむね満足できると判断される児童の具体例	支援を必要とする児童への指導の手だて
より効果的な資料を選ぶための大切なポイントとして、「相手に合わせて資料を選ぶ」「主張や目的に合わせて資料を選ぶ」ことについて書くことができている。	より効果的な資料を選ぶための大切なポイントを1つ書くことができている。	○グループごとにクラゲ図を完成させることによって、理由を明確にして考えることができるようにする。 ○グループで考えたポイントをふまえて、自分の言葉でポイントをまとめることができるようにする。

